

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

20
YEARS
MUZA KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ 日刊サマーミュージア

Hobo Nikkan Summer Muza



(左) 指揮：秋山和慶 (右) 振付：山本康介

ご来場者の声

初めてのバレエ観劇でしたが、音楽と舞踏がとても美しく楽しめました。学生のみなさん、指揮者、OBの方々お疲れさまでした。このように音楽・バレエを身近に楽しむ場を提供していただきありがとうございます。 (20代・鶏ササミと筋肉・学生) / LAブロックで見るのが毎夏の楽しみ。ヴィンヤード型のミュージア川崎だと通常の劇場のバレエ公演では不可能な斜め上の至近距離からダンサーを見ることが出来て非常に興味深い。 (60代・専業主夫・のらきち) / 弦楽器がとても美しかったですね。特に「四季」、グラズノフの抒情的風景を堪能できました。学生生活にコロナの打撃を被った世代だともいいますが、学生の皆様の将来に期待ですね！ (R) / 今日の秋山先生とオペは気合いが入っていて素晴らしいパフォーマンスでした。特にクラリネットの方は凄かった！ (60代・平社員・虎徹) グラズノフ「四季」「秋」が大好きなので、オーケストラの演奏とバレエの演技を見ることができ感動しました。またバレエ+オケ見たいです。 (40代・会社員・きのこ) / 毎年、バレエとオーケストラのおとぎの世界のこの公演を楽しませていただいています。とくに今年は演奏、バレエともに最高でした。本当にありがとうございました。 (70代・会社員・平岡)

いまや、フェスタサマーミュージアの名物企画となったのが、川崎市内にキャンパスのある洗足学園音楽大学が総力を挙げて取り組む、バレエとオーケストラの祭典だ。

今年、指揮者生活60周年を迎えたマエストロ・秋山和慶が指揮台に立ち、若さみなぎるオーケストラ(洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団)と同大学バレエコースの学生たちが、ふだんはバレエがめったに上演されないミュージアのステージを巧みに使って、初心者にも楽しめる華やかな舞台を創り上げるとあって、毎年楽しみにしているリピーターも多いという。

今年のテーマは、『巨匠・秋山と若き才能たちが舞う「四季」』。「四季」といえばヴィヴァルディが真っ先に思い浮かぶが、ロシアの作曲家グラズノフが1900年に作曲した「四季」は、バレエ音楽の傑作として名高い。春ではなく冬から曲が始まるというのも、いかにもロシアらしいではないか。

この日の公演では、後半に「四季」を、そして前半には同じくグラズノフのバレエ音楽「ライモンダ」(1898年作曲)から抜粋した組曲(ライモンダ・スイート)が取り上げられた。

ソロ、デュオ、群舞を巧みに組み合わせさせた山本康介の振付は

変化に富み、秋山とオーケストラが創り上げるニュアンス豊かな音楽に力を得て、バレエコースの学生たちが伸び伸びと踊り、舞う姿は、私のようなバレエの門外漢が観ても魅力に溢れ、拍手する手についつい力が入る。

終演後のカーテンコールで、指揮を終えた秋山が満面の笑みを浮かべていたのが印象的だった。今年は来場できなかった皆さんも、来年はぜひ！

(音楽ジャーナリスト・岩野裕一)



© 増田雄介

フェスタサマーミュージア KAWASAKI 2024 明日の公演情報

東京都交響楽団

円熟の小泉×都響 ~交響曲の王道~

ミュージア川崎シンフォニーホール

8.1(木) 19:00開演 プログラムはWebでも見られるよ！

モーツァルト：交響曲第40番
ブラームス：交響曲第1番



指揮：小泉和裕

プレコンサート 18:20~

モーツァルト：フルート四重奏曲第1番

フルート：小池郁江 / ヴァイオリン：伊東翔太
ヴィオラ：石田紗樹 / チェロ：伊東 裕

S: 完売 A¥4,000 B¥3,000
U25: 各席半額

TEL・WEB予約：当日17:00まで
当日券カウンター18:00より

サマーミュージア新グッズ登場！



A5クリアファイル
税込 ¥330 (税抜 ¥300)



20thブラボー鉛
税込 ¥420 (税抜 ¥389)

鉛7粒(塩サイダー味)
おまけシール付き
(全4種)

MUZA's Recommend

懐かしい「ブルクミュラー」の新しい響き



パイプオルガン 松居直美



パイプオルガン 大木麻理



朗読 小沼純一

Message

子どものころ、ブルクミュラーの「25の練習曲」を弾いた方はいらっしゃいませんか？私もその昔、ハノンやチェルニーといった退屈な練習曲をやり過ごし、ブルクミュラーを弾くことが楽しみでした。

曲が綺麗なうえに、それぞれに題名がついているのが好きでした。意味の解らない言葉もありましたが、想像をめぐらせながら覚えてしまいました。

子どもの想像は時に途方もないものでしたが、それも今となっては大事な思い出です。

今年はブルクミュラー没後150年です。かつて題名が広げてくれた想像の世界観を、色彩豊かなオルガンで再現してみたいと思っています。

ピアノの教則本で有名な「ブルクミュラー：25の練習曲」。

題名は覚えていなくとも聴いているうちに「あ！この曲弾いた！」と思い出せるように、今も昔もピアノ少年・少女の心に残っているのではないのでしょうか。

ブルクミュラーは19世紀のパリに生きた作曲家で、今年没後150年。彼の「25の練習曲」と、同時代のパリで活躍したメンデルスゾーン作品やシューマン「子供の情景」といったピアノの名作たちをパイプオルガンの演奏でお楽しみいただけます。

同じ鍵盤楽器ながら似て非なるピアノとオルガン。1つの音色で表現するピアノのために書かれた作品を、様々な音色のコンビネーションが特徴のパイプオルガンで演奏すると、どんな風に聴こえるでしょうか。開館以来ホールアドバイザーを務める松居直美と、本日の「オルガン付き」に登場するホールオルガニスト大木麻理。ミュージアのオルガンを熟知した二人が、この日のために選りすぐった音色と響きをお届けします。

「貴婦人の乗馬」「せきれい」「トロイメライ」・・・どの作品も、何か物語があるかのように想像が広がります。今回はその世界観に合わせて選んだ詩をカップリングします。

四季や自然、子どもの目で見た世界など、それぞれの作品の持つ世界観を想像しながら、詩や音楽が楽しまれていた19世紀パリのサロンのような、繊細な言葉や音楽たちに包まれる心地よいひとときを、芸術の秋にどうぞ。

(事業企画課・か)

ホールアドバイザー松居直美企画 言葉は音楽、音楽は言葉 Vol.6

ブルクミュラー没後150年～ピアノ少年、少女に捧ぐ～

2024. 10.26(土) 14:00開演(13:30～13:45プレトーク)

シューマン/松岡あさひ編:『子供の情景』
メンデルスゾーン/松岡あさひ編:『無言歌』から「甘い思い出」「春の歌」
ブルクミュラー/ハンス・フランク編:『25の練習曲』

全席指定 ¥4,000 / U25 ¥1,500



©青柳昭

関連企画 2024. 10.3(木) 14:00開演 MUZA ミュージック・カレッジ 第1回「再発見！ブルクミュラー」 全席自由 ¥3,000 10/26公演とのセット券 ¥6,300



パートナーショップのご紹介 エンジョイ! 川崎!! Enjoy Kawasaki

「新たなるスター誕生★星のうどん」

アトレ川崎7階に新しく開店した「星のうどん庵」へ行ってまいりました。角の立ったうどんも魅力ですが、あんみつなどの甘味も充実しています。

今回は贅沢に両方楽しめる甘味セットで、納豆うどん+抹茶ぜんざい(ハーフ)の組み合わせにしました。主旋律のひきわり納豆に下剋上のオブリガートで仕掛けてくるえのき茸の素揚げが、うどんの旨さを盛りあげています(スアゲだけに)。同行した受付Kさんはカレーつけうどんを注文。出汁香るカレー汁に、にんじんの天ぷらが載っていておいしそうでした。ああ、

向こうの紳士が頼んだごぼう天もおいしそうだったなあ。フルーツあんみつも...また行ってきます!

(受付:納豆大好き)



納豆うどん+甘味セット (税抜1,480円)

星のうどん庵
アトレ川崎
パートナーショップ特典
おうどんをご注文のお客様
ワンドリンクサービス(ソフトドリンク)
※「優待券」持参者のみ

フェスタサマーミュージア公式サイト
https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/

#サマーミュージア
#ミュージア20周年
で検索&投稿
お待ちしております!



X: @summer_muza
Facebook: @kawasaki.sym.hall
Instagram: @muzakawasaki
Youtube: @kawasakisymhall



8月3日の浜松国際音楽楽器アカデミー & フェスティヴァルワールドドリーム・ウインドオーケストラはアクトシティ浜松、8月5日のPACは兵庫芸術文化センターが本拠地です。果たしてミュージアではどのように響くのでしょうか。私もわくわくしながら当日を待ちわびています。(写真:写真提供はミュージアな広報)

スタッフ日誌